

# 令和5年度自己点検評価報告書(定常業務、重点活動目標、改善目標の自己評価)

学内組織名	令和5年度の定常業務の達成度 (基準:70%以上90%未満)	令和5年度の重点活動目標の達成度						令和5年度の改善目標の達成度					
		重点活動目標1			重点活動目標2			改善目標1			改善目標2		
		目標	自己評価 (基準:70%以上90%未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能であれば資料名も示してください。)	目標	自己評価 (基準:70%以上90%未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能であれば資料名も示してください。)	目標	自己評価 (基準:70%以上90%未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能であれば資料名も示してください。)	目標	自己評価 (基準:70%以上90%未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能であれば資料名も示してください。)
教務委員会	70%以上90%未満(問題無く実施できた)	質保証重点5項目の推進	90%以上(計画通り十分達成した)	今年度より、eポートフォリオ、ジェネリックスキルテストを導入した。	-----	-----	定常業務の円滑な実施	70%以上90%未満(計画通り達成した)	一部対応が遅れた業務があった。	-----	-----		
教務委員会 専攻科	70%以上90%未満(計画通り達成した)	特別による学位授与申請の見直しへの対応準備	70%以上90%未満(計画通り達成した)	東北地区専攻科長会議等を含め、他高等の対応状況について、情報収集を行いつつ、教員会議で周知を行った。	-----	-----	定常業務の円滑な実施	70%以上90%未満(計画通り達成した)	専攻科担当が初年度ということもあり、一部対応が遅れた事例が見られた。	-----	-----		
学生委員会	70%以上90%未満(問題無く実施できた)	学生が様々な分野で自主的・自発的な活動できるような環境を整備する。	70%以上90%未満(計画通り達成した)	学生会活動の様々な活動を支援することができた。また、未来創造チャレンジの継続を可能にすることができた。	挨拶の定着	70%以上90%未満(計画通り達成した)	学生会と協力して挨拶運動をすることができた。また、SHRを活用して挨拶の呼びかけをすることができた。	部活動の活性化と顧問の負担軽減	70%以上90%未満(計画通り達成した)	運動部、文化部、技術部のすべてにおいて、全国的な活躍を示すことができた。また、顧問の配置方針を明確化することにより、適切な配置を検討することができた。	-----	-----	
寮務委員会	90%以上(十分実施できた)	挨拶・生活習慣の定着	70%以上90%未満(計画通り達成した)	朝の登校確認を重点的に行った。	-----	-----	寮内安全管理体制の構築	50%以上70%未満(一部達成し、検討中の事項がある)	非常口から人が出た形跡があったので、対策を検討中。	-----	-----		
施設設備委員会	90%以上(十分実施できた)	違法建築物の撤去計画の推進	90%以上(計画通り十分達成した)	R5年度分の計画分については実施完了した。	学生の意見を取り入れたキャンパス整備計画の検討	90%以上(計画通り十分達成した)	学生会等からの意見をもりながら、キャンパスマスタープランや営繕事業(区分B)への申請を行った。	施設整備必要箇所のリストアップと更新	90%以上(計画通り十分達成した)	とくに故障の続く空調設備を中心に経過年数等を踏まえた設備リストを作成し、委員会と共有した。	-----	-----	
安全衛生委員会	90%以上(十分実施できた)	安全巡視での指摘事項への対応状況の確認・実効性をさらに進める	70%以上90%未満(計画通り達成した)	安全巡視の結果については、学内に共有しているものの、一部の組織などで毎年改善がみられない場所があり、引き続き改善の働きかけを行う。	校内・校外の環境美化活動の実施(教職員・学生による定期的な清掃活動等)	70%以上90%未満(計画通り達成した)	保護者総会等の前に、学外の清掃を行った。校内清掃については、教室等のゴミ箱更新なども行った。	安全巡視・環境改善活動に基づく校内環境の整備	90%以上(計画通り十分達成した)	安全巡視の結果、課題の見つかった箇所については、予算的に可能なものについては積極的に整備を行った。	-----	-----	
ハラスメント防止対策室	70%以上90%未満(問題無く実施できた)	ハラスメント防止の相談窓口・連絡方法の周知活動実施	70%以上90%未満(計画通り達成した)	ポスターの学内掲示を行ったほか、学生向けに相談体制のアナウンスを4月に実施した。	-----	-----	ハラスメントとなる事例等の教員会議等を通じた周知、事例セミナー開催	50%以上70%未満(一部達成し、検討中の事項がある)	FD研修会でのテーマのための資料準備を行ったが、説明する機会がなく、次年度に実施したい。	-----	-----		
広報室	90%以上(十分実施できた)	中学生増募につながる広報活動として、小・中学生の来校機会増加を図り各種体験イベントを企画する	90%以上(計画通り十分達成した)	カミングデーや公開形式でのオープンキャンパス等を実施した。	-----	-----	学生会および在校生の広報活動への巻き込み・連携を強化する仕組みをつくる	70%以上90%未満(計画通り達成した)	学生会等に依頼し、外部での学校説明会等において、在校生による案内や説明・PRを実施した。	-----	-----		
進路指導室	90%以上(十分実施できた)	学生向け進学・就職準備のための資料充実	70%以上90%未満(計画通り達成した)	オンデマンド資料として、進路決定スケジュールポスターや、書類記入のポイントをまとめた資料を作成し、学生にTeamsで公開した。	-----	-----	低学年からの進路選択サポート体制づくり	50%以上70%未満(一部達成し、検討中の事項がある)	低学年からのキャリア教育という観点からは、進路指導室としてマンパワーが不足しているが、次年度は担任会との連携をすすめ、低学年からの進路選択サポート体制を構築していきたい。	-----	-----		
地域共同テクノロジー委員会	90%以上(十分実施できた)	研究的外部資金獲得額の2022年度比25%増	90%以上(計画通り十分達成した)	受入額では、2022年度入金額よりも30%以上増加した。	岩手県とのAI人材育成関係事業ならびに自動車・半導体人材育成関係事業の実施	90%以上(計画通り十分達成した)	アントレプレナーシップチャレンジや自治体等と連携した半導体人材育成教育を実施した。	各種業務においてチームとして活動する	90%以上(計画通り十分達成した)	各種業務において、複数名で対応した。(例:科研費勉強会開催のための作業)	外部資金を獲得した教員の広報面からのサポート	90%以上(計画通り十分達成した)	教員会議において、定期的に研究的外部資金の獲得状況を周知し、研究活動に対する意識向上を図った。

学内組織名	令和5年度の 定常業務の達成度 (基準:70%以上 90%未満)	令和5年度の重点活動目標の達成度						令和5年度の改善目標の達成度					
		重点活動目標1			重点活動目標2			改善目標1			改善目標2		
		目標	自己評価 (基準:70%以上90% 未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能 であれば資料名も示してください。)	目標	自己評価 (基準:70%以上90% 未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能 であれば資料名も示してください。)	目標	自己評価 (基準:70%以上90% 未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能 であれば資料名も示してください。)	目標	自己評価 (基準:70%以上90% 未満)	根拠 (1.2文で簡潔に記述してください。可能 であれば資料名も示してください。)
知的財産部会	90%以上(十分実施できた)	特許申請件数2件	90%以上(計画通り十分達成した)	2023年度 ・特許出願件数: ・登録件数:	-----	-----	知的財産部会の体制の整備	50%未満(達成できなかった事項が多かった)	2023年度は体制整備に着手しなかったが、東北大学の「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム」の活動の一環として、2024年度に知的財産活動の活動体制の整備を開始する。	-----	-----	-----	
男女共同参画推進委員会	90%以上(十分実施できた)	サイエンスカフェの対面での開催	90%以上(計画通り十分達成した)	対面でサイエンスカフェを行った。	-----	-----	サイエンスカフェの開催時期を早める	90%以上(計画通り十分達成した)	8月にオープンキャンパスと同時開催で行った。	-----	-----	-----	
点検評価委員会	90%以上(十分実施できた)	運営諮問会議の実施	90%以上(計画通り十分達成した)	12/4に運営諮問会議を実施し、滞りなく終了した。年度内に本校からの諮問の提言に対する返答まで作成した。	学内自己点検・評価活動の円滑な実施	90%以上(計画通り十分達成した)	授業アンケートの時期を早めて実施することができ、授業改善に貢献できた。	成績評価保存資料の保存業務の重要性周知	90%以上(計画通り十分達成した)	教員会議で機会があることに評価の時期と保存資料の重要性についてアナウンスした。	成績評価保存資料として提出する実験レポート類の電子化検討	90%以上(計画通り十分達成した)	ほぼすべての資料を電子化している系もあり、それを参考に電子化を呼び掛けた。
図書館専門部会	70%以上90%未満(問題無く実施できた)	学生の学びの場として、定着を図る。	50%以上70%未満(一部達成し、検討中の事項がある)	後期からラーニング commons を開放できた。	-----	-----	新しい図書検索システムの定着を図る。	50%以上70%未満(一部達成し、検討中の事項がある)	システムの認知度が低かった。	-----	-----	-----	
総合情報センター	70%以上90%未満(問題無く実施できた)	学内システムのセキュリティ向上策の実装	70%以上90%未満(計画通り達成した)	学内メールサーバをMicrosoft365メールへ移行したことで、多要素認証が実装された。	-----	-----	令和4年度導入の機構調達システムの安定稼働	50%以上70%未満(一部達成し、検討中の事項がある)	外部eduroomユーザへのインターネット接続が実装できていない。引き続きベンダーへ実装を依頼していく。	-----	-----	-----	
情報セキュリティ推進室	90%以上(十分実施できた)	教職員“全員”のセキュリティ意識の向上	70%以上90%未満(計画通り達成した)	インシデントに至らない、ヒヤリ・ハット事案が散見される。また、横断型メール対応訓練において、未報告の教職員がまた見られる。	-----	-----	推進室の体制強化	70%以上90%未満(計画通り達成した)	情報セキュリティ副室長を配置した。	-----	-----	-----	
保健管理センター運営委員会	90%以上(十分実施できた)	常勤カウンセラーの本格的な運用開始を受けて、これまで以上に多数の「解決指向のチーム会議」を実施する。	90%以上(計画通り十分達成した)	「解決指向のチーム会議」について、今年度は、延べ37回の支援会議を開催した。前年度より対象学生数、実施回数共に大幅に増加した。また、常勤カウンセラーにより会議の運用開始に改善する。早期の学習支援につなげる体制を充実させる。	昨年度末に実施した「1学年学年末成績等情報共有」を全学年に拡大し、前期中間試験後からの運用開始に改善する。早期の学習支援を充実させる。	90%以上(計画通り十分達成した)	「1学年学年末成績等情報共有」を今年度も実施した。運用自体は後期からであったが、具体的な指導状況の報告が多くなるなど、前年度より改善した。また、他学年に1学年と同様の方式の導入は実現していないが、それと同等の効果を持つものとして、教務委員会に提案し、定期試験後の教員会議で成績一覧表を全教員に共有することを今年度から導入して、迅速な学習支援につなげることを開始した。	教員間での情報共有範囲を拡張し、多くの教員の視点を集約して、支援が必要な学生の早期発見を実現できるスクリーニング体制を一層強化する。	90%以上(計画通り十分達成した)	これまで以上に、支援の程度に応じて情報共有範囲を拡大している。Teamsによる情報は教員・三主事・学生課長等の管理職は全事例共有している。授業担当教員にも権力共有する形を広げている。この効果により、担任や寮担当者などを中心に、保健管理センター外の教員から共有情報の提供や、共有チャネルの作成依頼を受けることが増加した。	特命助教(学生支援)の活用範囲を拡大する。放課後だけではなく、授業時間帯には原級留置学生の指導を強化する。	90%以上(計画通り十分達成した)	原級留置学生のチーム支援充実により、事例に応じた学習指導計画を策定することが増加した。そのため、状況によっては既修科目の授業時間を特命助教による学習支援時間に充てることが増加し、特命助教による指導時間全体が増加傾向にある。
学校いじめ防止対策委員会	70%以上90%未満(問題無く実施できた)	いじめ防止の取り組みについて、学生会とも協力し、学校全体で取り組む。	70%以上90%未満(計画通り達成した)	連絡体制や支援体制の検討など、学校全体として取り組むことができた。ただし、学生会との連携は不十分であったことから、次年度の改善点とする。	-----	-----	電子的な相談窓口の設置などで、学生がいじめ案件を報告しやすくなる。	50%未満(達成できなかった事項が多かった)	検討はしたものの、十分に電子的な対応を検討することはできなかった。引き続き、学生が報告しやすししくみを検討していく。	-----	-----	-----	
技術室	90%以上(十分実施できた)	安全第一な活動	90%以上(計画通り十分達成した)	事故無く安全に業務を遂行することができた。	技術支援業務の円滑な実施	90%以上(計画通り十分達成した)	技術長を中心として、技術支援業務を円滑に実施することができた。	人員の確保	90%以上(計画通り十分達成した)	目標を達成した。	-----	-----	-----
国際交流委員会	90%以上(十分実施できた)	安全な海外派遣の実施	90%以上(計画通り十分達成した)	計50名の学生を安全に海外へ派遣した。	-----	-----	海外協定校からの短期留学生の受入れの再開	90%以上(計画通り十分達成した)	フランス、タイから5名の短期留学生を受入れた。	-----	-----	-----	
サイバーセキュリティ人材育成事業推進委員会	90%以上(十分実施できた)	全ての系・領域におけるサイバーセキュリティ教育の実践と深化	90%以上(計画通り十分達成した)	全ての系・領域において、サイバーセキュリティ教育に係る内容がシラバスに記載されている。	-----	-----	全教員によるサイバーセキュリティ教育の必要性の理解	50%以上70%未満(一部達成し、検討中の事項がある)	教員会議では随時、活動報告や教材の紹介を行ったが、FDIは開催できなかった。	-----	-----	-----	

令和5年度自己点検評価報告書(改善の進言への対応)

学内組織名	進言事項1			進言事項2			進言事項3			進言事項4		
	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細
教務委員会	e-ポートフォリオの活用について具体的な方針を示す	対応した	教員会議においてポートフォリオの活用について説明した。また、ポートフォリオで収集したデータの分析を行った。	ネイティブの教員による英語の授業の実施や、学生の英語能力(TOEICのスコア等)の底上げについての検討	対応を検討中である	次年度から始まるグローバルエンジニア育成事業の中で対応したい。	第二外国語などの必修科目の履修への意欲を高める方策(世界で多くの人口が話すスペイン語や、協定校からの学生が話すフランス語を第二外国語とすることなど)について検討	対応を検討しない	第二外国語における言語の選択肢を増やすという意味では、予算的な問題から対応は難しい。次年度以降、第二外国語の在り方を含め検討したい。		-----	-----
教務委員会 専攻科	専攻科生が行っている研究の内容や成果を、保護者や振興会の会員企業等に積極的にPRする	対応した	特別研究発表会について、振興会会員企業および保護者等に(さくら連絡網で)周知した。		-----	-----		-----	-----		-----	-----
学生委員会	学生の共用スペースを巡回して、学校の雰囲気が乱れないようにつとめる	対応した	学生会役員を通してコミュニケーションスペースの使用の注意喚起を行った。	顧問の負担軽減の実現	一部対応し、検討中の事項がある	顧問の配置方針等を整備した。引き続き負担軽減を検討する。	学生の交通マナー向上	対応した	SHRやTeamsでの呼びかけ、交通指導巡回等を行った。	未来創造チャレンジの支援継続の検討	十分対応した	寄付金を活用し、次年度も未来創造チャレンジが実施できるように検討を行った。
寮務委員会	保護者との連携を密にする	一部対応し、検討中の事項がある	閉寮日等保護者が来校する機会に面談の予約を受け付けるようにした。 春と秋の寮生保護者会で地区別で集まってもらう事を検討中。		-----	-----		-----	-----		-----	-----

学内組織名	進言事項1			進言事項2			進言事項3			進言事項4		
	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細
施設設備委員会	魅力あるキャンパスを目指して教職員と学生から広く意見を聴取し、活用する	一部対応し、検討中の事項がある	キャンパスマスタープラン、学生寮等の更新については関連する委員会組織などで意見募集している。学校全体に広く意見を聴取した結果を計画に反映する時間的・予算的余裕がないため、効率的な方法を検討したい。		----	----		----	----		----	----
安全衛生委員会		----	----		----	----		----	----		----	----
ハラスメント防止対策室		----	----		----	----		----	----		----	----
広報室	幅広い層に効果的に情報を伝える手段の検討	対応した	SNSを活用し、情報提供を行っているほか、スーパー等の掲示板での学校イベントポスター掲示などを実施した。	さまざまな活動を動画で記録し、利活用する	一部対応し、検討中の事項がある	イベントや授業などの動画などを撮影し広報PRに活用しているが、広報室のマンパワー的に毎年更新したりすることが困難であるので、学内教員の積極的なデータ提供を依頼する。	学生を巻き込んだ活動の増加	対応した	学校説明会やオープンキャンパスなどでは説明に在籍学生を積極的に登用し、参加者から高評価であった。		----	----
進路指導室	求人や進路の決定状況などの保護者への積極的な発信	一部対応し、検討中の事項がある	広報活動の一環で実施している保護者向け一関高専ダイジェストの8月号で、進路選択について特集を組み発信したが、さらに発信の機会を増やすべきと考える。		----	----		----	----		----	----
地域共同テクノロジーセンター委員会	外部資金獲得の増加に向けての対策	十分対応した	教員会議において外部資金獲得状況を教員に周知するとともに、イノベーション戦略グループによる教員会議報告も実施し、イノベーションの雰囲気醸成を図った。	技術相談を増加させるための方策	対応した	産学官連携コーディネータの企業訪問時に、技術相談を持ちかける取り組みをした。		----	----		----	----

学内組織名	進言事項1			進言事項2			進言事項3			進言事項4		
	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細	内容	対応状況	対応の詳細
知的財産部会	特許申請の効果の周知	対応を検討中である	教員が起業する時代の到来を見据えて、研究シーズの特許化の重要性について効果的に周知する方法を検討したい。		----	----		----	----		----	----
男女共同参画推進委員会	研修会の内容を受けた新たな方策	対応を検討しない	対応を検討することができなかった。	イベントへの参加者増加対策	対応した	サイエンスカフェでは学生に企画運営の中心になってもらい、VRやAIの体験企画を行い、多くの小中学生の参加があった。		----	----		----	----
点検評価委員会	教務委員会と連携した授業アンケート回答率向上のための方策の検討	十分対応した	アンケート実施時期を早めることで、学生が自身への還元を感じられるようにした。また、担任にSHRでの呼びかけを依頼した。	授業改善活動の質の向上	対応した	アンケートの集計結果を担当教員に早めに知らせることで、授業改善への利活用を呼び掛けた。		----	----		----	----
図書館専門部会	学生が本に触れて新たな発見につながるイベントの立案・実施	十分対応した	コロナ禍で中断していた「ブックハンティング」を再開した。		----	----		----	----		----	----
総合情報センター		----	----		-----	-----		----	----		-----	----
情報セキュリティ推進室		----	----		-----	-----		----	----		-----	----
保健管理センター運営委員会		----	----		-----	-----		----	----		-----	----
学校いじめ防止対策委員会	学生がいじめ等をためらわずに相談・報告できる環境作り	一部対応し、検討中の事項がある	友人からの相談で発見できるケースがあったことから、環境はできつつあると考えられる。継続して検討する。	いじめを発見・回答しやすいアンケート内容の検討	対応を検討中である	次年度に向けて、アンケートの改良を検討する。		----	----		----	----
技術室		-----	-----		-----	-----		----	----		-----	----
国際交流委員会	多くの学生を国際交流活動に巻き込むための工夫	十分対応した	国際交流サークルを頻繁に開催するとともに、海外からの訪問者を積極的に受入れて交流を行った。	保護者への積極的なPR	対応した	海外派遣についての保護者説明会を実施し、さらには連絡網の利用を行った。		----	----		-----	----
サイバーセキュリティ人材育成事業推進委員会		----	----		-----	-----		----	----		-----	----